

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	家庭児童相談事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	子育て支援課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	子育て支援係						
	総合計画 分野別計 画	主目的	3 保健福祉		12 子育て支援			3 子育て中の親を支援する								
		副目的														
	予算区分	款	3		項	3		目	1		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	児童福祉法														
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営				地域住民組織				一部又は全部委託						
				指定管理・外郭団体		名称:										
				NPO・その他		名称:										
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	相談者の悩みを聞き適切な指導をすることによって、児童養育の向上を図り、子どもの健全な育成に寄与する。															
内容 (手段)	<p>家庭児童相談室の開設 (開設日・時間) 月～金曜日・午前9時30分～午後4時30分 (場所) ふれあいセンター (相談員数) 2名 (相談内容) 子どもと家庭に関するさまざまな問題、子どものしつけ・養育・発達に関すること、 学校生活、非行、家庭環境などの悩み事。</p>															
受益者負担	無	内容														

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額	
コスト	直接経費		千円	172	169	565
	費用	正職員	従事者数	人	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0
	その他職員	従事者数	人	2.00	2.00	2.00
		人件費	千円	4,576	4,298	3,727
	費用合計		千円	4,748	4,467	4,292
	対前年比		%		94.0	
財源	一般財源		千円	4,741	4,460	4,285
	国・県支出金		千円	7	8	7
	その他財源		千円	0	0	0

業 績	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23	
		週あたり開設日数	日	目標		5	5	5
				実績		5	5	
				目標				
				実績				
			目標					
			実績					
	成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23	
		相談件数	件	目標		800	700	700
				実績		693	876	
			目標					
			実績					

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	相談者の悩みを傾聴し、問題解決可能な支援機関へのつなぎも適切に行い、相談件数の増加に繋がっている。		
	事業を廃止・休止したときの影響	同様の窓口として少年センターの相談事業があるが、児童虐待の相談窓口でもあり、市民サービスの低下に繋がる。		
	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	相談支援業務を適切に行うことで、保護者の育児ストレスや家庭の問題からくるストレスの軽減を図ることが出来るため判断した。		
	今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	相談員が保育士であるため幼児期の子どもとその保護者への適切な対応が可能である。今後は、研修機会を確保し、障害を持つ子どもとその保護者への対応なども、問題解決を図ることができるよう相談員の質の向上を図る。また、要保護児童対策地域協議会をはじめとするネットワーク会議に参加し、他機関の相談員との連携を深める。		

二次評価	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	一次評価のとおり		